

# 参考資料

	ページ
実績編	
・連結 主要決算数値（13年度対12年度）	1
会社別・セグメント別売上高内訳（13年度実績）	2
資産構成変化（13年度末対12年度末）	3
・個別 主要決算数値（13年度対12年度）	4
営業主要計数（13年度対12年度）	5
主要決算数値（13年度対当初見通し）	6
営業主要計数（13年度対当初見通し）	7
・連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	8
見通し編	
・個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	9
・連結 主要決算数値（14年度見通し対13年度実績）	10
・個別 主要決算数値（14年度見通し対13年度実績）	11
営業主要計数（14年度見通し対13年度実績）	12
・連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	13

# 実績編

## 連結 主要決算数値 (13年度 対 12年度)

億円

	FY13	FY12	増減		備考
売上高	21,121	19,156	1,965	10.3%	都市ガス+1,032(単価増)、その他エネルギー+209(LNG販売+227)、器具及びガス工事+157(器具+126)
営業利益	1,660	1,456	204	14.0%	都市ガス+113、その他エネルギー+66(電力+53)、器具及びガス工事+32(器具+23)
経常利益	1,596	1,474	122	8.2%	為替影響▲53(▲55←▲2)、専用設備料収入▲23(5←28)
当期純利益	1,084	1,016	68	6.7%	関係会社株式売却益▲34(0←34)、投資有価証券売却益▲10(0←10)、減損損失▲8(▲23←▲15)、固定資産売却益+10(10←0)他
総資産	21,768	19,924	1,844	9.3%	有形・無形固定資産+1,230(設備投資2,480、償却▲1,403)、投資その他の資産+173、流動資産+442(売掛金+272)
自己資本	10,117	9,276	841	9.1%	当期純利益1,084、為替換算調整勘定+314、自己株式市場買付▲359、配当金支払▲267
自己資本比率 (%)	46.5%	46.6%	▲0.1	—	総資産の増加率(+9.3%)に対し、自己資本の増加率(+9.1%)が小さかったため減少
総資本回転率 (回転)	1.01	0.99	0.02	—	
ROA(*2) (%)	5.2	5.3	▲0.1	—	総資産の増加(+1,844)が大きかったため減少
ROE(*2) (%)	11.2	11.5	▲0.3	—	自己資本の増加(+841)が大きかったため減少
有利子負債残高	7,138	6,425	713	11.1%	東京ガス+609
D/Eレシオ	0.71	0.69	0.02	—	
当期純利益	1,084	1,016	68	6.7%	
減価償却(*3・4)	1,403	1,387	16	1.2%	TGバーネット+18、TGフルート+8、OP▲9(個別ベース)
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,488	2,404	84	3.5%	
設備投資(*3)	2,480	1,837	643	34.9%	
TEP	507	598	▲91	▲15.2%	
(WACC)	3.2%	3.2%	0.0%	—	
1株当たり当期純利益 (円/株)	43.10	39.52	3.58	9.1%	当期純利益増(+68)により上昇
1株当たり純資産 (円/株)	402.91	360.70	42.21	11.7%	
総分配性向(*5)	60.0	60.7	▲0.7	—	

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5)n年度総分配性向 = ((n年度の配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

## 連結会社別・セグメント別売上高内訳表

百万円

		セグメント別外部売上高					計	外部 売上高比率	内部 売上高	単独決算 売上高
		都市ガス	器具及び工事	その他エネルギー	不動産	その他				
東京ガス(A)		1,399,043	149,296	180,965	0	6,779	1,736,083	91.0%	172,422	1,908,505
連結 会社 別 外部 売上 高 計	東京ガス都市開発	0	0	0	10,183	0	10,183	36.5%	17,704	27,888
	扇島パワー	0	0	4	0	0	4	0.1%	9,061	9,066
	長野都市ガス	12,709	1,858	0	0	0	14,567	100.0%	0	14,567
	エネルギーアドバンス	0	0	79,337	0	0	79,337	95.0%	4,207	83,544
	ガスター	0	17,431	0	0	0	17,431	47.2%	19,503	36,934
	東京エルエヌジータンカー	0	0	0	0	6,691	6,691	28.3%	16,915	23,606
	東京ガスエネルギー	351	0	34,166	0	0	34,518	80.2%	8,509	43,027
	キャプティ	0	17,543	0	0	2,965	20,509	36.5%	35,609	56,118
	東京ガスケミカル	0	0	20,184	0	0	20,184	81.1%	4,715	24,900
	千葉ガス	17,500	1,603	781	0	0	19,885	96.1%	798	20,683
	ティージー情報ネットワーク	0	0	0	0	607	607	3.0%	19,786	20,394
	東京ガス・エンジニアリング	0	0	0	0	28,301	28,301	52.4%	25,701	54,002
	ニジオ	0	0	14,811	0	0	14,811	14.1%	89,916	104,727
	その他	17,977	20,564	20,850	696	48,910	108,999	67.7%	51,917	160,917
連結子会社計(B)		48,539	59,000	170,136	10,879	87,476	376,033	55.3%	304,347	680,381
連結会社合計		1,447,582	208,296	351,101	10,879	94,256	2,112,117	81.6%	476,769	2,588,887
外部売上比率		94.8%	75.4%	64.3%	35.5%	44.9%	81.6%	-	-	-
内部売上高(C)		78,887	67,926	194,518	19,787	115,650	476,769	-	476,769	-
単純合算売上高(A)+(B)+(C)		1,526,470	276,223	545,620	30,666	209,906	2,588,887	-	-	-

## 連結資産構成の変化(13年度末 対 12年度末)

(対前年度末比較)

億円

	FY13末		FY12末		増減		増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
<b>【資産の部】</b>							
固定資産	15,925	73.2%	14,523	72.9%	1,402	9.7%	(有形・無形固定資産)設備投資2,480、償却▲1,403 (投資その他の資産)投資有価証券+267(為替+103、時価評価差額による増加+67 他)
流動資産	5,842	26.8%	5,400	27.1%	442	8.2%	売掛金+272、有価証券+140
資産合計	21,768	100.0%	19,924	100.0%	1,844	9.3%	

<b>【負債の部】</b>							
有利子負債	7,138	32.8%	6,425	32.2%	713	11.1%	(社債)第37回債発行+200、第38回債発行+150、第24回債満期償還▲300 (長期借入金)新規借入+695、返済▲205
退職給付引当金	849	3.9%	861	4.3%	▲12	▲1.3%	
支払手形・買掛金	1,130	5.2%	921	4.6%	209	22.7%	買掛金+210
その他負債	2,354	10.8%	2,250	11.3%	104	4.6%	未払金等+94
負債合計	11,473	52.7%	10,458	52.5%	1,015	9.7%	
<b>【純資産(資本)の部】</b>							
株主資本	9,673	44.4%	9,217	46.3%	456	5.0%	(利益剰余金・自己株式)+456(当期純利益1,084、自己株市場買付▲359、 配当金支払▲267)
その他の包括利益累計額	443	2.0%	58	0.3%	385	655.3%	(為替換算調整勘定)+314、(その他有価証券評価差額金)+46
少数株主持分	177	0.8%	188	0.9%	▲11	▲6.2%	
純資産(資本)合計	10,294	47.3%	9,465	47.5%	829	8.8%	自己資本比率46.6%(FY2012末)→46.5%(FY2013末)
負債・純資産(資本)合計	21,768	100.0%	19,924	100.0%	1,844	9.3%	

## 個別 主要決算数値(13年度 対 12年度)

	億円			
	FY13	FY12	増減	
総売上高	19,085	17,142	1,943	11.3%
営業利益	1,286	1,048	238	22.7%
経常利益	1,302	1,145	157	13.7%
当期純利益	900	785	115	14.6%

### 料金スライドの収支への影響

	FY13	FY12	増減
料金によるスライド回収	1,812	415	1,397
原料費の増加分	1,646	536	1,110
差し引き	166	▲121	287

### 経済フレーム

	FY13	FY12	増減
原油価格	109.99	113.88	▲3.89 \$/bbl
為替レート	100.17	82.91	17.26 円/\$

	億円				
	FY13	FY12	増減		
製品売上高(ガス売上高)	14,677	13,184	1,493	11.3%	
営業費用	原材料費	9,388	8,068	1,320	16.4%
	(粗利)	(5,289)	(5,116)	(173)	(3.4%)
	諸給与	935	974	▲39	▲4.0%
	諸経費	2,441	2,395	46	1.9%
	減価償却費	1,019	1,020	▲1	▲0.1%
	LNG受託加工費	▲47	▲48	1	-
計	13,737	12,410	1,327	10.7%	
受注工事収支	11	3	8	225.0%	
器具販売等収支	117	103	14	13.0%	
営業雑収支	128	107	21	19.8%	
附帯事業収支	217	167	50	30.2%	
営業利益	1,286	1,048	238	22.7%	
営業外収支	16	97	▲81	▲83.1%	
経常利益	1,302	1,145	157	13.7%	
特別利益	4	10	▲6	-	
特別損失	21	13	8	-	
法人税等	385	356	29	8.0%	
当期純利益	900	785	115	14.6%	

数量・料金構成差+138億円、単価差+1,355億円

数量・原料構成差+196億円、単価差+1,124億円(為替影響=+1,414、油価影響=▲287)

数量・構成差▲58億円、単価差+231億円

数理計算上の差異▲22億円、人員減 他

詳細は下記参照

新設件数増+3億円

エネファーム台数増・費用減+11億円 他

電力販売+27億円、LNG販売+22億円 他

関係会社受取配当金減▲64億円 他

今期:固定資産売却益4億円 前期:投資有価証券売却益10億円

今期:固定資産減損損失21億円 前期:減損損失13億円

	億円			
	FY13	FY12	増減	
修繕費	368	363	5	1.6%
消耗品費	145	149	▲4	▲2.6%
賃借料	180	178	2	1.4%
委託作業費	642	642	0	0.0%
租税課金	464	440	24	5.5%
需要開発費	244	247	▲3	▲1.1%
その他	398	376	22	5.3%

売上高増に伴う事業税増+24億円

光熱費+5億円、本支管除却費+7億円 他

## 個別 営業主要計数(13年度 対 12年度)

### お客さま件数

千件

	FY13	FY12	増減	
お客さま件数	10,809	10,678	131	1.2%
新設件数	224	208	16	7.5%

### 個別ガス販売実績

百万m3

		FY13	FY12	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		368.6	382.7	▲ 14.1	▲ 3.7%	気温影響▲10.8m3(▲2.9%)、日数差異+0.7m3(+0.2%)、その他▲4.0m3(▲1.0%)
家庭用		3,345	3,427	▲ 82	▲ 2.4%	気温影響▲99百万m3(▲2.9%)、日数差異+8百万m3(+0.2%)、件数差+49百万m3(+1.4%)、その他増減▲40百万m3(▲1.1%)
業務用	商業用	1,757	1,769	▲ 12	▲ 0.7%	
	その他用	924	921	3	0.3%	
業務用計		2,681	2,689	▲ 8	▲ 0.3%	気温影響▲10百万m3(▲0.4%)、その他増減+2百万m3(+0.1%)
工業用	発電専用	3,127	2,856	271	9.5%	
	発電専用以外	3,112	3,033	79	2.6%	
工業用計		6,239	5,889	350	5.9%	新規需要増
計		8,919	8,578	341	4.0%	
卸供給		2,255	2,196	59	2.7%	気温影響▲8百万m3(▲0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働増+67百万m3(+3.1%)
合計		14,519	14,201	318	2.2%	気温影響▲117百万m3(▲0.8%)、工業用発電専用+271百万m3(+1.9%)、工業用(工業用発電専用以外)+79百万m3(+0.5%)、卸供給(気温影響除き)+67百万m3(+0.5%)、その他+18百万m3(+0.1%)
(内大口供給)		7,802	7,409	393	5.3%	

## 個別 主要決算数値(13年度 対 当初見通し)

	億円			
	FY13	FY13当初	増減	
総売上高	19,085	19,100	▲ 15	▲0.1%
営業利益	1,286	1,300	▲ 14	▲1.1%
経常利益	1,302	1,280	22	1.8%
当期純利益	900	870	30	3.5%

### 料金スライドの収支への影響

	FY13	FY13当初	増減
料金によるスライド回収	1,812	1,861	▲ 49
原料費の増加分	1,646	1,652	▲ 6
差し引き	166	209	▲ 43

### 経済フレーム

	FY13	FY13当初	増減
原油価格	109.99	110.00	▲ 0.01 \$/bbl
為替レート	100.17	100.00	0.17 円/\$

金額は基準価格(改定前66,180円)に対する増減額

	億円			
	FY13	FY13当初	増減	
製品売上高(ガス売上高)	14,677	14,830	▲ 153	▲1.0%
営業費用	原材料費	9,388	9,416	▲ 28 ▲0.3%
	(粗利)	(5,289)	(5,414)	(▲ 125) (▲2.3%)
	諸給与	935	956	▲ 21 ▲2.2%
	諸経費	2,441	2,468	▲ 27 ▲1.1%
	減価償却費	1,019	1,019	0 0.0%
	LNG受託加工費	▲ 47	▲ 45	▲ 2 -
計	13,737	13,814	▲ 77 ▲0.6%	
受注工事収支	11	4	7	179.5%
器具販売等収支	117	93	24	25.8%
営業雑収支	128	97	31	32.7%
附帯事業収支	217	187	30	16.3%
営業利益	1,286	1,300	▲ 14	▲1.1%
営業外収支	16	▲ 20	36	-
経常利益	1,302	1,280	22	1.8%
特別利益	4	0	4	-
特別損失	21	0	21	-
法人税等	385	410	▲ 25	▲6.1%
当期純利益	900	870	30	3.5%

数量・料金構成差▲58億円、単価差▲95億円

数量・原料構成差▲22億円、単価差▲6億円(為替影響=+32、油価影響=▲31)

数量・構成差▲36億円、単価差▲89億円

設備科目等への振替増 他

詳細は下記参照

新設件数増+3億円 他

GHP台数増・費用減+10億円、温水システム台数増+2億円 他

電力販売+32億円、LNG販売▲2億円 他

関係会社受取配当金+11億円、支払利息等の減+9億円、専用設備料収入+5億円 他

今期:固定資産売却益4億円

今期:固定資産減損損失21億円

### 諸経費

	億円			
	FY13	FY13当初	増減	
修繕費	368	349	19	5.7%
消耗品費	145	152	▲ 7	▲3.9%
賃借料	180	182	▲ 2	▲0.8%
委託作業費	642	653	▲ 11	▲1.7%
租税課金	464	466	▲ 2	▲0.3%
需要開発費	244	262	▲ 18	▲6.8%
その他	398	404	▲ 6	▲1.5%

ガス栓対策引当+13億円、本支管修繕費+4億円 他

システム関係委託費 他

大口営業費▲8億円、家庭用営業費▲7億円 他

除却費▲11億円 他



## 個別 営業主要計数(13年度 対 当初見通し)

### お客さま件数

千件

	FY13	FY13当初	増減	
お客さま件数	10,809	10,804	5	0.0%
新設件数	224	218	6	3.0%

### ガス販売量内訳

百万m3

	FY13	FY13当初	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	368.6	375.7	▲ 7.1	▲1.9%	気温影響▲7.1m3(▲2.0%)、日数差異▲0.4m3(▲0.1%)、その他+0.4m3(+0.2%)	
家庭用	3,345	3,405	▲ 60	▲1.8%	気温影響▲67百万m3(▲2.0%)、日数影響▲3百万m3(▲0.1%)、件数影響+4百万m3(+0.1%)、その他増減+6百万m3(+0.2%)	
業務用	商業用	1,757	1,735	22	1.2%	
	その他用	924	915	9	1.0%	
	業務用計	2,681	2,650	31	1.2%	気温影響+20百万m3(+0.8%)、その他増減+11百万m3(+0.4%)
工業用	発電専用	3,127	3,156	▲ 29	▲0.9%	
	発電専用以外	3,112	3,087	25	0.8%	
	工業用計	6,239	6,243	▲ 4	▲0.1%	既存物件稼働減
計	8,919	8,893	26	0.3%		
卸供給	2,255	2,273	▲ 18	▲0.8%	気温影響▲5百万m3(▲0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲13百万m3(▲0.6%)	
合計	14,519	14,571	▲ 52	▲0.4%	気温影響▲52百万m3(▲0.4%)、工業用発電専用▲29百万m3(▲0.2%)、工業用(工業用発電専用以外)+25百万m3(+0.2%)、卸供給(気温影響除き)▲13百万m3(▲0.1%)、その他+17百万m3(+0.1%)	
(内大口供給)	7,802	7,790	12	0.1%		

## 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

実績（13年度 対 12年度） 億円

<連結>	FY13	FY12	増減	
当期純利益	1,084	1,016	68	6.7%
減価償却	1,403	1,387	16	1.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,488	2,404	84	3.5%

実績（13年度 対 12年度） 億円

<個別>	FY13	FY12	増減	
当期純利益	900	785	115	14.6%
減価償却	1,056	1,059	▲3	▲0.3%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,956	1,844	112	6.1%

実績（13年度 対 当初見通し） 億円

<連結>	FY13	FY13当初	増減	
当期純利益	1,084	1,010	74	7.4%
減価償却	1,403	1,390	13	1.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,488	2,400	88	3.7%

実績（13年度 対 当初見通し） 億円

<個別>	FY13	FY13当初	増減	
当期純利益	900	870	30	3.5%
減価償却	1,056	1,056	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,956	1,926	30	1.6%

### 設備投資内訳

実績（13年度 対 12年度） 億円

	FY13	FY12	増減	
製造設備	289	228	61	26.5%
供給設備	907	875	32	3.6%
業務設備他	190	166	24	15.0%
連結子会社設備投資*	1,091	566	525	92.6%
計	2,480	1,837	643	34.9%

製造設備：日立LNG基地関連他+61億円

供給設備：保安関連他+22億円、需要開発関連他+10億円

業務設備他：その他業務設備他+24億円

実績（13年度 対 当初見通し） 億円

	FY13	FY13当初	増減	
製造設備	289	280	9	3.1%
供給設備	907	965	▲58	▲6.1%
業務設備他	190	219	▲29	▲12.5%
連結子会社設備投資*	1,091	1,114	▲23	▲2.0%
計	2,480	2,580	▲100	▲3.9%

製造設備：日立LNG基地関連他+9億円

供給設備：安定供給関連▲14億円、その他供給設備他▲44億円

業務設備他：その他業務設備他▲29億円

\*上記2表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

# 見通し編

## 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

### 経済フレーム

	FY14見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	110.00	110.00	110.00	\$/bbl
為替レート	105.00	105.00	105.00	円/\$
	FY13実績			
	上期	下期	年度	
原油価格	107.69	112.09	109.99	\$/bbl
為替レート	98.86	101.53	100.17	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	2.31	-2.09	0.01	\$/bbl
為替レート	6.14	3.47	4.83	円/\$

### 原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

億円

1\$/bbl	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 22	▲ 22	▲ 9	0	▲ 53
原料	▲ 21	▲ 23	▲ 23	▲ 6	▲ 73
粗利	▲ 1	1	14	6	20

※油価が1\$下がった場合の年度収支影響額

億円

1円/\$	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 21	▲ 24	▲ 25	▲ 7	▲ 77
原料	▲ 22	▲ 23	▲ 25	▲ 25	▲ 95
粗利	1	▲ 1	0	18	18

※為替が1円円高になった場合の年度収支影響額

## 連結 主要決算数値(14年度見通し 対 13年度実績)

億円						
	FY14	FY13	増減		備考	
売上高	22,980	21,121	1,859	8.8%	都市ガス+1,285、その他エネルギー+595(売上単価増他)、器具及びガス工事▲117(数量減)	
営業利益	1,300	1,660	▲360	▲21.7%	都市ガス▲255、その他エネルギー▲104、器具及びガス工事▲31、海外+55(LNG単価増)	
経常利益	1,230	1,596	▲366	▲22.9%		
当期純利益	940	1,084	▲144	▲13.3%	特別損益+133(有価証券売却益+80、固定資産売却益+31、減損損失の減+23)	
総資産	22,260	21,768	492	2.3%		
自己資本	10,300	10,117	183	1.8%	当期純利益計上により利益剰余金増加	
自己資本比率 (%)	46.3%	46.5%	▲0.2%	-		
総資本回転率 (回転)	1.04	1.01	0.03	-	売上高増(+8.8%)により上昇	
ROA(*2) (%)	4.3%	5.2%	▲0.9%	-	当期純利益減により下落(▲0.7%)	
ROE(*2) (%)	9.2%	11.2%	▲2.0%	-	当期純利益減により下落(▲1.5%)	
有利子負債残高	7,730	7,138	592	8.3%	東京ガス+700	
D/Eレシオ	0.75	0.71	0.04	-		
	当期純利益	940	1,084	▲144	▲13.3%	
	減価償却(*3・4)	1,420	1,403	17	1.2%	
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,360	2,488	▲128	▲5.2%		
設備投資(*3)	2,370	2,480	▲110	▲4.4%		
TEP	233	507	▲274	▲54.0%		
(WACC)	3.6%	3.2%	0.4%	-		
1株当たり当期純利益 (円/株)	38.14	43.10	▲4.96	▲11.5%	当期純利益減により下落	
1株当たり純資産 (円/株)	423.66	402.91	20.75	5.1%		
総分配性向(*5)	(*6) -	60.0%	-	-		

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5) $n$ 年度総分配性向 =  $((n$ 年度の年間配当金総額) $+(n+1$ 年度の自社株取得額) $)\div(n$ 年度連結当期純利益)

(\*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

## 個別 主要決算数値(14年度見通し 対 13年度実績)

	億円			
	FY14	FY13	増減	
総売上高	20,910	19,085	1,825	9.6%
営業利益	960	1,286	▲ 326	▲25.4%
経常利益	1,000	1,302	▲ 302	▲23.2%
当期純利益	780	900	▲ 120	▲13.4%

### 料金スライドの収支への影響

	FY14	FY13	増減
料金によるスライド回収	902	▲ 76	978
原料費の増加分	914	▲ 242	1,156
差し引き	▲ 12	166	▲ 178

金額は基準価格(13年12月改定82,470円)に対する増減

### 経済フレーム

	FY14	FY13	増減
原油価格	110.00	109.99	0.01 \$/bbl
為替レート	105.00	100.17	4.83 円/\$

	億円				
	FY14	FY13	増減		
製品売上高(ガス売上高)	15,980	14,677	1,303	8.9%	
営業費用	原材料費	10,947	9,388	1,559	16.6%
	(粗利)	(5,033)	(5,289)	(▲256)	(▲4.8%)
	諸給与	872	935	▲ 63	▲6.8%
	諸経費	2,453	2,441	12	0.5%
	減価償却費	1,029	1,019	10	1.0%
	LNG受託加工費	▲ 46	▲ 47	1	-
計	15,255	13,737	1,518	11.0%	
受注工事収支	6	11	▲ 5	▲46.3%	
器具販売等収支	80	117	▲ 37	▲31.9%	
営業雑収支	86	128	▲ 42	▲33.2%	
附帯事業収支	149	217	▲ 68	▲31.5%	
営業利益	960	1,286	▲ 326	▲25.4%	
営業外収支	40	16	24	142.3%	
経常利益	1,000	1,302	▲ 302	▲23.2%	
特別利益	80	4	76	-	
特別損失	0	21	▲ 21	-	
法人税等	300	385	▲ 85	▲22.1%	
当期純利益	780	900	▲ 120	▲13.4%	

数量・料金構成差+405億円、単価差+898億円

数量・原料構成差+360億円、単価差+1,199億円(為替影響=+428、油価影響=+13、その他価格改定等=+758)

数量・構成差+45億円、単価差▲301億円

数理計算上の差異▲52億円 他

詳細は下記参照

本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増

新設件数減 他

GHP販売台数減 他

電力販売▲59億円、LNG販売▲7億円 他

関係会社受取配当金+44億円、専用設備料収入▲5億円 他

来期:投資有価証券売却益、今期:固定資産売却益

今期:固定資産減損損失

	億円			
	FY14	FY13	増減	
修繕費	350	368	▲ 18	▲5.1%
消耗品費	149	145	4	2.2%
賃借料	178	180	▲ 2	▲1.4%
委託作業費	649	642	7	1.0%
租税課金	477	464	13	2.8%
需要開発費	232	244	▲ 12	▲5.0%
その他	418	398	20	5.8%

[前年度]ガス栓対策引当13億円

導管関係+7億円 他

売上高増に伴う事業税増+13億円 他

家庭用営業▲16億円 他

除却費+13億円、光熱費+4億円 他

## 個別 営業主要計数(14年度見通し 対 13年度実績)

### お客さま件数

千件

	FY14	FY13	増減	
お客さま件数	10,935	10,809	126	1.2%
新設件数	212	224	▲ 12	▲ 5.2%

### ガス販売量内訳

百万m3

		FY14	FY13	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		369.3	368.6	0.7	0.2%	気温影響+5.2m3(+1.4%)、日数差異▲0.7m3(▲0.2%)、その他増減▲3.8m3(▲1.0%)
家庭用		3,390	3,345	45	1.4%	気温影響+47百万m3(+1.4%)、日数差異▲6百万m3(▲0.2%)、件数差異+41百万m3(+1.2%)、その他増減▲37百万m3(▲1.0%)
業務用	商業用	1,727	1,757	▲ 30	▲ 1.7%	
	その他用	903	924	▲ 21	▲ 2.3%	
業務用計		2,630	2,681	▲ 51	▲ 1.9%	気温影響▲44百万m3(▲1.6%)、その他増減▲7百万m3(▲0.3%)
工業用	発電専用	3,569	3,127	442	14.1%	
	発電専用以外	3,201	3,112	89	2.9%	
工業用計		6,770	6,239	531	8.5%	既存物件稼働増
計		9,400	8,919	481	5.4%	
卸供給		2,278	2,255	23	1.0%	気温影響+5百万m3(+0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働増+18百万m3(+0.8%)
合計		15,068	14,519	549	3.8%	気温影響+8百万m3(+0.1%)、工業用発電専用+442百万m3(+3.1%)、工業用(発電専用以外)+89百万m3(+0.6%)、卸供給(気温影響除き)+18百万m3(+0.1%)、その他▲8百万m3(▲0.1%)
(内大口供給)		8,442	7,802	640	8.2%	

## 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

14年度通期見通し（今回（4/28）対 13年度実績） 億円

<連結>	FY14見通し	FY13	増減	
当期純利益	940	1,084	▲ 144	▲13.3%
減価償却	1,420	1,403	17	1.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,360	2,488	▲ 128	▲5.2%

14年度通期見通し（今回（4/28）対 13年度実績） 億円

<個別>	FY14見通し	FY13	増減	
当期純利益	780	900	▲ 120	▲13.4%
減価償却	1,063	1,056	7	0.8%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,843	1,956	▲ 113	▲5.8%

### 設備投資内訳

14年度通期見通し（今回（4/28）対 13年度実績） 億円

	FY14見通し	FY13	増減	
製造設備	353	289	64	21.9%
供給設備	1,000	907	93	10.3%
業務設備他	250	190	60	30.4%
連結子会社設備投資*	766	1,091	▲ 325	▲29.8%
計	2,370	2,480	▲ 110	▲4.4%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+64億円

供給設備 : 安定供給関連+104億円、その他供給設備他▲11億円

業務設備他 : その他業務設備他+60億円

\*上記表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む



# 東京ガス株式会社

## <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東  
京ガスの対応等があります。